

平成22年度事業報告書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

特定非営利活動法人アプカス

1. 事業の成果

今年度は、国内外の活動について、各活動分野で取り組みを深化させた一年であった。

「地域開発事業」に関しては、「(1)環境保全活動」、「(2)教育支援活動」、「(3)農業支援活動」、「(4)衛生向上活動」、「(5)障がい者の支援活動」に分け、報告する。

「(1)環境保全活動」については、酪農学園大学と共同でスリランカ西部州ボルゴダ湖周辺の製材工場から廃棄物として投棄されているおが屑から固形燃料を製造し、家庭用・事業用燃料として近隣住民に提供する「バイオマスの有効利用を通じた湖沼環境保全事業」の2年目にあたる活動を行った。当法人は、湖沼環境住民の環境意識調査、現地での調整業務および環境教育部分を担当した。当活動により、以前はごみと認識されていたおが屑が、バイオマス燃料の原料になる資源として、近隣事業者に広範囲に知られるようになった。事業終了時には、おが屑の再利用の動きが加速しており、今後、おが屑の不法投棄が減少していく事が期待されている。また、当活動で設立したバイオマス燃料の生産拠点は、地域住民の手で継続的に生産と販売を行っていくことになっている。

「(2)教育支援活動」については、教育の格差が深刻化するスリランカ中部州で、1つの小学校と2つの幼稚園の建設を行った。当活動では、住民参加型による建設やインフラ整備、学校菜園の整備等も行い、教育支援に加え、地域の持続的な安定に寄与する仕組みを組み込んだ。また、中部州の地すべり被災地では、被災者の子どもに加え、受け入れ住民の子どもも対象として、英語クラブ、子どもクラブを通期で開催し、計5か所のクラブで、300人以上の子どもが参加するネットワークにまで成長した。さらに子どもへの教育関連の緊急支援では、平成23年1月には現地NGOによる北部の内戦被災地の孤児院建設支援、同2月には北中部州の洪水被災世帯の子どもに800セットの文具セット支援を行った。

「(3)農業支援活動」では、昨年度から引き続き、スリランカの広範な地域で家庭菜園の普及を行った。また、メインの活動として、中部州に農業センターと共同農場を設立し、地域住民と共に養鶏、酪農、養蜂、きのこ栽培などの成長が期待できる農業分野での新規営農をサポートした。さらに同センターには、日本から最新の食品乾燥機を導入し、食品加工技術の向上にも同時に取り組んでいる。これらの総合的な農業技術の支援活動を通して、持続可能な農業技術の普及と農業生産体制、組合の強化等を行い、近隣の農家の所得向上と地域おこしに繋げていければと考えている。

「(4)衛生向上活動」では、スリランカ北西部州の水不足の農村地域にある複数の学校で雨水貯水タンクや井戸を整備し、さらに、子どもへの衛生向上セミナーを昨年度から引き続き開催した。2年目という事もあり、行政側の衛生担当官の関心も高く、子ども、さらに保護者が一体となって、地域の水と衛生に関する取り組みが大きく加速された。さらに今年度は、北中部州の慢性腎臓病が多発する地域の学校に対し、有害物質を濾過するフィルター等の設置事業を行い、安全な飲み水の供給と慢性腎臓病への正しい理解を深めるキャンペーンを行政、医師、NGOが共同で展開した。

「(5)障がい者の支援活動」では、スリランカ社会福祉省と協働し、視覚に障がいを持っている青年を対象にフットマッサージ講習を実施し、ホテルなどへの修了者の就業支援を行った。また、障がい者に対する偏見を払しょくするために眼科医や伝統医療医とラジオやメディアで啓もう活動を展開した。

「災害やその他の緊急事態に対する救援・復興支援事業」については、今年度も継続して、スリランカ中部州の地すべり被災者に住宅資材の提供を行った。また、平成 23 年 1 月に発生したスリランカ北中部州洪水被災者に対し、パートナーNGOと共に住宅資材の提供と学用品の緊急支援活動を行った。さらに、3 月 11 日に発生した東日本大震災に対しても、スリランカから駐在スタッフを緊急帰国させ、3 月 28 日より宮城県で緊急支援活動を実施している。

「地域開発事業に係るモニタリング・評価事業」としては、スリランカ現地 NGO が日本の支援のもとで行う事業に関して、両者の調整、レポート作成のサポート、モニタリング等を通期で行った。

「国際機関、団体、個人等の活動の活性化を図る人材交流・ネットワーク促進事業」では、日本とスリランカの両国で、行政、パートナーNGO、国際機関、研究機関、国際協力や環境保全の関連機関と継続的な情報の共有を行った。また、「おんこプロジェクト基金」を設立し、今まで実施の難しかった比較的規模の小さな案件に支援者が直接資金を提供する新たな支援スキームを開始した。

「講演や開発教育・環境教育などの啓発・教育事業」については、日本国内では3大学で国際協力と平和、フェアトレード、コミュニティ開発に関する講演活動やワークショップを行った。また、スリランカでは 10 校以上で、環境教育、衛生向上等のワークショップを展開した。また、研究調査として、昨今日本でも大きく注目を集めるスリランカのBOP市場に関するマーケット調査を実施した。さらに、6 月にはNPO 法人やコミュニティと関わる仕事に就いている卒業生と共に、酪農学園大学で「地域を繋ぐ」をテーマに参加型ワークショップを開催した。

「この会の活動を促進するために情報収集事業」としては、団体創設時から継続して積極的な情報収集と公開を念頭に、WEB 媒体での情報を相当量蓄積させた。今後も透明性が高く、タイムリーに価値ある情報を提供しうる WEB 構築を目指していく。

また、「その他事業」に関しては、ボランティアスタッフの協力の下、札幌で開催されたフェアトレードフェスタおよび東京で開催されたグローバルフェスタなどに出展し、当会の活動紹介と共に現地スリランカのアーティストが作ったクラフト等の販売を行った。

2. 事業の実施に関する事項

(1)特定非営利活動に係る事業

| 定款の事業名 | 事業内容 | 実施月 日 | 実施の場所 | 従事 者の 人数 | 受益対象者の 範囲及び人数 | 支出額 (千円) |
|--------|---|----------|----------------------------|----------------|-----------------------------|-------------|
| 地域開発事業 | (1)環境保全活動 ① おが屑の有効利用を通した湖沼環境保全事業 | 通期 | スリランカ西部州 コロポ県モラトゥ ワ市 | 12 名 | モラトゥワ市住 民と生徒 2000名 | 400 |
| 〃 | (2)教育支援活動 ② スリランカ僻地農村 での教育施設の建設 および関連事業 | 通期 | スリランカ中部州 ヌワラエリア県 | 7 名 | 生徒及び園児 1400 人とその 保護者 | 2,972 |
| 〃 | (2)教育支援活動 ③ 地すべり被災地にお ける子どもクラブの 運営 | 通期 | スリランカ中部州 ヌワラエリア県 | 10 名 | 子ども 300 名 とその保護者 | 416 |
| 〃 | (2)教育支援活動 ④ 僻地・農村地域の学 校における水供給と 衛生概念向上支援 | 通期 | スリランカ北西部 州クルネーガラ県 | 7 名 | 生徒 900 人と 1200 人の保護 者 | 1,128 |
| 〃 | (3)農業支援活動 ⑤ 地すべり被災地にお ける農業を中心とし | 通期 | スリランカ中部州 ヌワラエリア県 | 13 名 | 地すべり被災 した 200 世帯 | 9,810 |

| | | | | | | |
|--------------------------------------|---|------|-------------------|-----|----------------------|-------|
| | た総合的な生計向上支援 | | | | | |
| 〃 | (4)衛生向上活動 ⑥ 水質の改善、水資源の有効利用を通じた地域開発プロジェクト | 通期 | スリランカ北中部州アヌラーダプラ県 | 7名 | 生徒・教員 1600名とその保護者 | 4,482 |
| 〃 | (5)障がい者の支援活動 ⑦ 視覚障がい者のマッサージ師就業支援活動 | 6月～ | スリランカ西部州コロンボ県など | 6名 | 10名の視覚障がい者とその家族 | 403 |
| 災害やその他の緊急事態に対する救援・復興支援事業 | ⑧ 地滑り被災地における住宅建設支援事業 | 通期 | スリランカ中部州ヌワラエリア県 | 6名 | 27世帯の地すべり被災世帯 | 2,529 |
| 〃 | ⑨ 洪水被災者支援の子どもへの学用品の緊急支援活動 | 通期 | スリランカ北中部州ポロンナルワ県 | 6名 | 800名の生徒 | 269 |
| 〃 | ⑩ 北部内戦被災地区における孤児院の建設支援 | 通期 | スリランカ北部州ムラティブ県 | 4名 | 内戦被災民の子ども200名 | 806 |
| 地域開発事業に係るモニタリング・評価事業 | ⑪ 他団体実施プロジェクトのモニタリングとサポート業務 | 通期 | スリランカ・日本 | 5名 | 300名 | 0 |
| 国際機関、団体、個人等の活動の活性化を図る人材交流・ネットワーク促進事業 | ⑫ スリランカ及び日本におけるネットワーク作り | 通期 | スリランカ・日本 | 10名 | 300名 | 21 |
| 〃 | ⑬ おんこプロジェクト基金の創設と実施 | 通期 | スリランカ・日本 | 4名 | 100名 | 301 |
| 講演や開発教育・環境教育などの啓発・教育事業 | ⑭ 国際協力や地域開発に関する情報の収集および教育・研究事業 | 通期 | スリランカ・日本 | 2名 | 500名 | 67 |
| 〃 | ⑮ 教育機関での講演やワークショップの開催 | 6月など | スリランカ・日本 | 3名 | 200名 | 0 |
| この会の活動を促進するための情報収集事業 | ⑯ 情報収集や発信事業 | 通期 | スリランカ・日本 | 2名 | 1000名 | 0 |

(2)その他の事業

| 定款の事業名 | 事業内容 | 実施月日 | 実施の場所 | 従事者の人数 | 受益対象者の範囲及び人数 | 支出額(千円) |
|--------|-------------------|----------|-------|--------|--------------|---------|
| 物品販売事業 | ⑰ フェアトレード商品の開発と販売 | 6月・12月など | 北海道 | 3名 | 130名 | 50 |